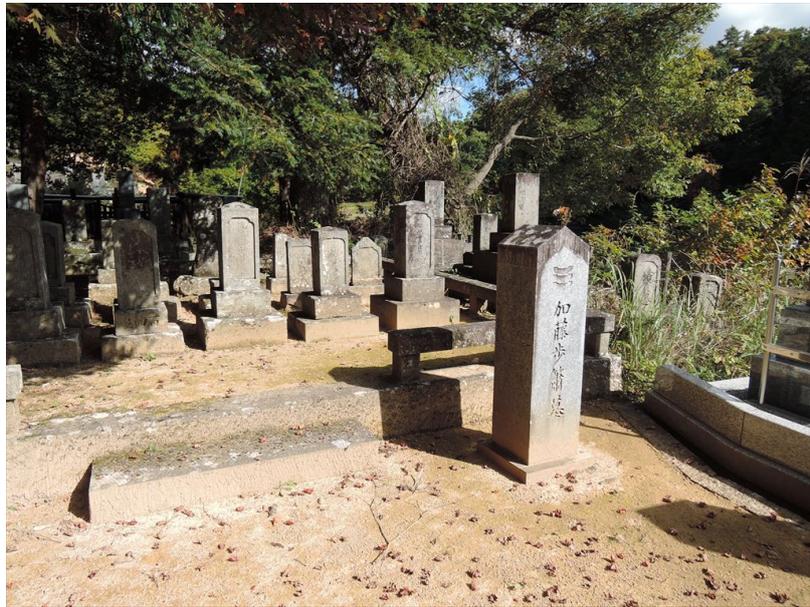


県指定・加藤歩簫墓



<http://digitalarchiveproject.jp/information/> 県指定・加藤歩簫墓



〈県指定〉昭和 31 年 2 月 24 日

〈所有者〉加藤家

〈所在地〉天性寺町字西ヶ洞 法華寺裏墓地

〈時代〉江戸時代(19 世紀)

〈員数〉11 m²

墓(1 カ所)標石高さ 59 cm、幅 25 cm 角

加藤家の墓地は、法華寺山頂上にある。上下 2 段に区画し、上段に 17 基の墓石を 3 列に配置してあるが、歩簫の墓は第 1 列の中央に位置し、「清境院幽山白翁居士」と刻まれている。

歩簫は名を貴雄、通称を小三郎という。蘭亭歩簫、白(しらら)翁(おう)(晩年)と号した。俳諧を泊庵蝶夢に、国学を伴蒿蹊(ばんこうけい)に学び、安永元年(1772)家督を相続し、父の私塾を継承した。

二之町組頭を 40 余年間勤める一方、雲橋社を創立し、図書 1,000 余巻を一般に公開するなど文教の振興に力を尽くした。晩年吉城郡西茂住に凡兆の遺詠地を探り、大きな自然石にその句を刻ませた。文政 10 年(1827)12 月 14 日没、享年 85。

「紙魚のやとり」(しみのやどり)等多数の著書があり、大正 15 年 100 年祭を記念して「蘭亭遺稿」2 巻が刊行された。

参考文献

『高山の文化財』178～179 頁 高山市教育委員会発行 平成 6 年 3 月 31 日



001_①加藤歩篤墓・歩道001



002_②歩道入口・四方001



003_②歩道入口・四方002



004_②歩道入口・四方003



005_②歩道入口・四方004



006_②歩道入口・四方005



007_②歩道入口・四方006



008_②歩道入口・四方007



009_②歩道入口・四方008



010_②歩道入口・四方009



011_②歩道入口・四方010



012_③入口表示001



013_④墓前・四方001



014_④墓前・四方002



015_④墓前・四方003



016_④墓前・四方004



017_④墓前・四方005



018_④墓前・四方006



019_④墓前・四方007



020_④墓前・四方008



021_④墓前・四方009



022_④墓前・四方010



023_⑤墓石・全001



024_⑤墓石・全002



025_⑤墓石・全003



026_⑤墓石・全004



027_⑤墓石・全005



028_⑤墓石・全006



029_⑤墓石・全007



030_⑤墓石・全008



031_⑤墓石・全009



032_⑤墓石・全010



033_⑤墓石・全011



034_⑤墓石・全012



035_⑤墓石・全013



036_⑤墓石・全014



037_⑤墓石・全015



038_⑤墓石・全016



039_⑤墓石・全017



040_⑤墓石・全018



041_⑤墓石・全019



042_⑤墓石・全020



043_⑥墓域・全景001



044_⑥墓域・全景002